



あじさいプロジェクト
NAGASAKI AISAI PROJECT

【2025年度号】

長崎医師保育サポートシステム通信

2026年2月発行

発行：長崎大学病院メディカル・ワークライフバランスセンター

医師の仕事と子育ての両立を応援します！

長崎医師保育サポートシステムは、長崎県内の子育て中の医師が、仕事と育児を両立できるように保育サポーターを紹介し、就労継続を支援することを目的とした事業です。おかげさまで、システム利用者数は年々増加しています。センターでは、仕事と生活の両立を図りながら、目標や夢に向かって活躍するドクターを様々な取り組みを通して応援しています。

保育サポータースキルアップ研修会

2025.9.5

「乳幼児の一次救命処置」を学ぶ

もしもの事故に備えて、サポート中に役立つ知識の習得・スキルアップのため、座学と人形を用いた実践形式で学びました。実際にAEDを使用し、救命現場さながらの雰囲気でした。



チャイルドシートが1台増えました！



新生児から使用できるチャイルドシートを有志の皆様からのご寄附で購入しました。お子さんの月齢・体格に合ったチャイルドシートを貸出しますので、自家用車での送迎サポートが必要な場合は、センターへご相談ください。

※在庫が無い場合は、利用者(医師)にご準備をお願いしています。

Combi
クルム-ヴ ロング R129
エッグ ショック EA

チャイルドモード(後向き)：身長40～87cm
チャイルドモード(前向き)：身長76cmかつ月齢15ヵ月以上～105cmまで
ジュニアモード(前向き)：身長100～135cmまで

★新安全基準R129適合

保育サポーター インタビュー動画を制作しました！

有志の皆様からのご寄附で保育サポーターを募集する動画を制作しました。2組の医師家族と担当の保育サポーターさんにご協力いただき、保育サポーター登録のきっかけや、実際の活動内容をわかりやすくご紹介しています。多くの方に保育サポートシステムの意義や魅力を知っていただき、「登録してみよう！」と感じていただけるきっかけになれば幸いです。

お知り合いの子育て中の医師や、活動に賛同してくださる方へ動画を拡散(シェア・共有)してください！

「あじさいプロジェクト」公式YouTubeチャンネルを開
設し、動画を公開しておりますので、ぜひ周知ください。



VOICE1 「自分にできることを、できる範囲で」



VOICE2 「一歩踏み出したら、世界が変わった」



DVD視聴による保育サポーター説明・講習

いつでも受講可



説明・講習用DVDの貸出を行っています！

「保育サポーターに登録してみようかな」とご検討の皆様へ、説明・講習用DVDの視聴をお願いしています。センターまたはご自宅で、いつでも受講可能です。

- ◆システムの概要説明
- ◆講習①『子どもの心理的サポート』
長崎大学ダイバーシティ推進センター
元センター長 公認心理師・臨床心理士 吉田 ゆり先生
- ◆講習②『こどもの応急処置～病院へ連れていく前に～』
長崎大学病院医療教育開発センター
長崎外来医療教育室 元室長・教授 長谷 敦子先生

お知り合いのご興味ある方をご紹介します！

みなさまの声

2025年度に保育サポートシステムと関わりのあった皆様から、メッセージをお寄せいただきました。貴重なご意見は、今後の運営に反映してまいります。ありがとうございました。

利用者(医師)の声

★第1子出産後、復職前から利用を開始しました。育児休業中は、子どもを見てもらっている間に勉強をしたり、家事を進めたりすることができ、生活にゆとりができました。優しい保育サポーターさんに子どもも懐いており、日常的な場面はもちろん、万が一の際にもお願いできる方がいることで、復職後も安心して働けると感じました。

★妻と子どもの3人暮らしですが、夫婦ともに長崎出身ではないため、実家に頼ることが難しい環境にあります。そんな中、長崎医師保育サポートシステムにお世話になり大変助かっています。妻と子どもが2人で過ごす時間が多く、どうしても子どもを連れて行けない用事がある際に、子どもを見ていただけて、とてもありがたく感じています。頼れる人が少ない家庭にとって、本当に心強くありがたいシステムだと思います。今後も必要に応じて、保育サポーターさんに頼っていきたいと考えています。

★週に1、2回利用しています。利用する日によって、掃除や片付け、子ども達の見守りなど、柔軟に対応していただいています。物理的な負担が軽減されるだけでなく、育児の先輩として相談にも乗ってくださり、とても頼りにしています。市のファミリーサポートも併用していますが、そちらと比べるとサポート内容が幅広く、非常に助かっています。これからも継続して利用したいです。

保育サポーターの声

★お子さんを連れて行けない急な外出の際などに、平均2時間ほど1歳半のお子さんの見守りサポートをしています。外出先からお戻りの際には、安心されたご様子で感謝の言葉をいただき、私もお力になれたことを嬉しく思います。お子さんと過ごす時間は毎回とても楽しく、幸せな気持ちでご自宅をあとにしています。これからも保育サポーターとして、頼れる存在でありたいと思っています。

★週に1回、掃除と1歳のお子さんの保育をしています(時には4歳のお兄ちゃんも一緒です)。子ども達に沢山声をかけ、一緒に遊ぶことで私自身も元気を貰っています。同時に、ママのサポートとしてしっかり動いているかどうか、毎回振り返っています。私自身も子育て中ですので、ママと一緒に育児を並走している気持ちで活動しています。

★週に2回、医師宅で低学年のお子さんの見守りをしています。はじめは慣れてくれるか不安でしたが、こちらから話しかけるとすぐに打ち解けてくれました。今では、一緒にゲーム遊びなどをして楽しい時間を過ごし、少しずつ信頼関係が築けていると感じています。お子さんと過ごす中で、自身の子育てを思い出して懐かしくなることも多いです。大切なお子さんを預かる緊張はありますが、楽しい時間を大切に、成長を見守りながら、私自身もこの貴重な経験を通して成長していきたいと思っています。

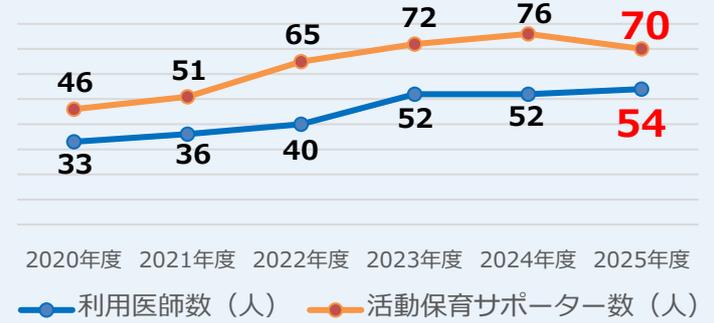
2025
年度

活動状況

2025/4/1～2026/2/9現在

| 2025年度 | 利用者 (医師) | 保育 サポーター |
|-------------------|-------------|-------------|
| 新規登録数 | 14名 | 22名 |
| 登録総数 うち利用/活動実数 | 82名 54名 | 193名 70名 |
| 資料請求数 | 20件 | 40件 |

利用医師・活動保育サポーター推移



主な活動内容

- ・ 医師宅やサポーター宅での保育
 - ・ 保護者在宅中の乳児見守りや保育、沐浴の補助
 - ・ 送迎のみ（保育園、幼稚園、習い事、学童等）
 - ・ 病児保育（医師宅での病児、病後児保育等）
 - ・ その他（外遊び、外出先や行政施設での保育等）
- + 保育と併せて家事支援（掃除、洗濯、食事作り等）を行う場合もあります。

保育+家事支援など、
定期利用も増えています

利用中の医師と活動中の保育サポーターのみなさまへ

2026年3月活動分までの「活動報告書」は、**4月6日(月)までに必ずご提出ください。**

(難しい場合は、期日までに電話かメールでご報告ください。)

※関係機関へ詳細な実績報告が必要なため、ご協力をお願いします。

◆◆◆ 医師のみなさまへ ◆◆◆

◆2026年度の登録継続確認は google フォームで
行います。回答期限は**3月9日(月)**です。

※登録医師全員はメールでご案内済みです。

左記QRコードからも回答可能です。《QRコード》

登録内容(住所、勤務先、支援を受ける
子どもの人数など)に変更がある場合は
随時センターまでご連絡ください。



◆◆◆ 保育サポーターのみなさまへ ◆◆◆

◆登録内容(住所、活動可能な時間帯など)に
変更がある場合や、登録抹消をご希望の場合は
センターまでご連絡ください。

◆円滑な相互連絡のため、**メールアドレスの登録にご協力をお願いします。**スマートフォンや
パソコンから下記へメールを送信ください。

宛先: info01@nagasaki-ajisai.jp



あじさいプロジェクト
NAGASAKI AIJISAI PROJECT

【長崎医師保育サポートシステム】

長崎大学病院メディカル・ワークライフバランスセンター

〒852-8501 長崎市坂本1丁目7-1 TEL&FAX 095-819-7979



<Webサイト>